

自治 温故創新

考える
思いやる
やりぬく

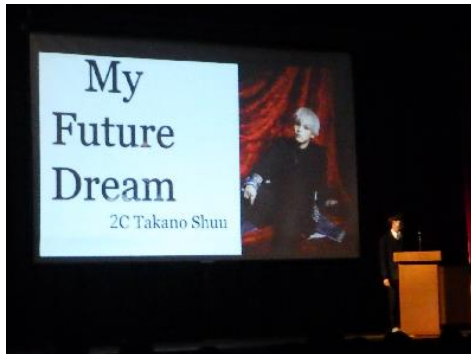
まごころ

学校便り 3月号

令和5年3月15日
西東京市立田無第三中学校

文化発表会を終えて

文化発表会実行委員長 今泉 古乃美



3月4日、本校にて文化発表会が行われました。前日の保護者向けプレ公開では、たくさんの方にご来場いただきありがとうございました。コロナ禍の中で、学校の様子をなかなか伝える機会がない中、生徒の授業の成果を見ていただく事ができ嬉しく思います。

今年度は、例年に比べて展示の数も大幅に増え、校内に活気が溢れたように感じました。そして、四年ぶりとなる舞台発表の復活もあり、開校60周年にふさわしい文化発表会になったと思います。聞けばなんと、三中で舞台発表のある文化発表会を経験しているのは、生徒どころか、教員でもごくわずかな先生方だけだそうです。そんな右も左もわからない中で、実行委員の生徒達は本当によく動いてくれました。教科系の生徒も、自分から何をすればいいか教員に聞いている姿がありました。係のない生徒たちも、全力で文化発表会をとおして楽しみながら学び、しおりにメモを取っている様子が多く見られました。それらのことから、ようやく運動会・合唱コンクール・文化発表会と三つの行事を経て成長していく、三中の本来の姿に戻りつつあると感じました。

当日は、まず舞台発表から行われました。一番手は二年生による読書感想文の発表。二年生とは思えない完成度で、すぐに本を読みたくなるような素敵な発表でした。そこから、一年英語・二年英語・二年総合と、生徒がタブレットでスライドを作成した発表がありました。どれも学年の代表なだけあって堂々としていました。また、ユーモアあふれる面白い発表が生徒たちを釘付けにしていました。家庭科のロールプレイでは、演劇を取り入れた発表があり、ハプニングをも笑いにかえるなど、生徒たちの生き生きとした様子が見られました。そして最後は吹奏楽部の素晴らしい演奏！！すでに引退している三年生も加わり、重厚感のある演奏でした。三中の体育館に新たな伝統を届けるハーモニーが響いていました。

続いて、展示見学がありました。各教科・各学年の授業の様子を、作品を通して全校生徒や教員が知ることのできる、いい機会になりました。一年生の感想には、先輩を尊敬する姿があり、三年生の感想には、過去にやった題材を懐かしむものや、三中のこれからに期待するものもありました。どの作品も個性豊かで、生徒たちの感想にも「楽しかった」という言

敬する姿があり、三年生の感想には、過去にやった題材を懐かしむものや、三中のこれからに期待するものもありました。どの作品も個性豊かで、生徒たちの感想にも「楽しかった」という言

葉が多くあり、嬉しかったです。運動会や合唱コンクールとともに、全校で盛り上がることできた行事だったのではないかと思います。

来年度以降も、さらに飛躍した文化発表会を開催できるように、また一年間頑張りたいと思います。ありがとうございました。

